

大里っ子チャレンジ通信

No.19 2017年11月18日(土)

さいたま市立浦和大里小学校チャレンジスクール実行委員会

第 19回大里っ子チャレンジスクールを11月18日(土)に実施しました。朝から寒い日でしたが、自主学習に使用するブックランドの暖房は使用せずでしたが、

「寒い!」と言った児童は誰ひとりいませんでした。児童の皆さんの元気に感心しました。自主学習の取り組みの様子を見て気になったことが二つありました。一つ目は、児童によって取り組みの姿勢に温度差があったことです。これまでもたびたび指摘したのですが、時間を無駄にしないように使って欲しいと思います。二つ目は、鉛筆の持ち方です。6年前にチャレンジスクールが始まって以来の事です。親指で人差し指や中指を巻き込むような形で鉛筆を持って字を書いていることです。今はそれが普通なのかも知れませんが、そんな児童の皆さんが書道の時には正しい筆の持ち方で字を書いているのが不思議です。鉛筆も書道の時と同様に正しい持ち方で字を書けると良いと思いますが・・・。

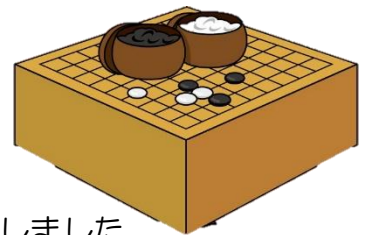
自主学習、みんな頑張っていたかな?



4枚の写真は自主学習の様子です。みんな頑張っていますね。左上の写真に写っているTS君は辞書を使って漢字を調べています。わからないことを人に聞くことも大切ですが、まずは自分の力で調べたり、考えたりすることが大切です。

後半は「囲碁」にチャレンジ!

～みんな真剣に、そしてなごやかに～



後 半は、4階のハッピールームに移動して「囲碁」にチャレンジしました。今年度の大里っ子チャレンジスクールでは2回目の囲碁教室となりました。前回同様に朝早くから「さいたま市民囲碁協会」の皆さんが大勢来校して会場準備をしてくださっていました。今回の講師は、プロ棋士の「風間 隼(かざま・じゅん)」先生でした。いつも日本棋院との橋渡しをしてくださっている「古越利始」先生とともに児童の皆さんをご指導してくださいました。



講師プロフィール

- *平成3年2月2日生
- *宮城県出身
- *宋光復九段門下
- *平成24年入段
- *平成26年二段
- *平成29年三段
- *日本棋院東京本院所属



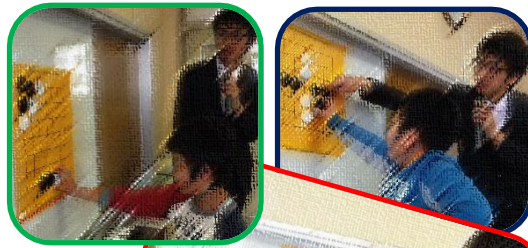
地元にお住いの「古越 利始」先生。大里っ子チャレンジスクールでは、平成26年度からずっと古越先生のご尽力で日本棋院所属のプロ棋士の先生による囲碁教室を開催することができています。児童の皆さんに配布するテキストは古越先生が印刷作成してくださっています。

基本を教わったら、さっそく対局

〜石取りゲームで理解を深める〜

は

じめに風間先生から囲碁の基本のルールについて説明がありました。碁盤と碁石の関係を「石のつながり」、「石の道」、などの言葉を使ってお話していただきました。説明の後、次の一手はどこかという簡単な問題が出されました。右の3枚の写真は、TSくん、TDくん、KNくん、YYさんが問題にチャレンジしているところです。(全員正解!) みんなから拍手が起きました。



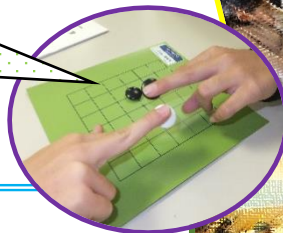
練

習問題の後は、「石取りゲーム」で囲碁の基本を学びました。「礼儀が大切」との古越先生のご指導で、始める前にお互いに「お願いします。」のあいさつをしました。ゲームが始まるとみんなとても真剣に取り組んでいました。囲碁協会の皆さんも児童の皆さんの間に入って石の置き方などをアドバイスしていただきました。真剣な中にも、とても和やかな雰囲気時間が過ぎて行きました。途中で飽きてしまう児童もなく、最後まで一生懸命取り組むことができました。囲碁協会の方から、「あの子は筋が良い。」とか「基本が良くできている。」とかお褒めの言葉をいただいた児童がたくさんいました。「講師の先生のお話を聴くときには、碁石をジャラジャラさせない。」との古越先生の指示もしっかり守れており、初めから最後までとても楽しい、そして嬉しい時間が過ごせました。最後に、風間先生から次の一手の問題が出されました。最初に出された問題よりは複雑なものでしたが、チャレンジした児童の皆さんは全員正解! 正しい位置に石が置かれるたびに大人の皆さんから「お〜っ!」と声が上がっていました。



左から問題を解くMSさん、YYさん、TSくん。お見事!!

みんな一生懸命に取り組んでいますね。だれの手を撮影したか忘れてしまいましたが、碁石を持つスタイルはもうすっかりプロ並みですね。



◎次回(第20回)のチャレンジスクールは、**11月25日(土)**です。

◎前半はブックランドで、後半は工作室で活動します。

◎前半は、いつもどおり「自主学習」です。

◎後半は、「スノードーム」づくりにチャレンジします。

◎講師は浅倉和弘先生です。

※「次回のお知らせ」にも書いてありますが、白いタマゴのからを、良く洗って、薄皮をとって、乾燥させて、小さく砕いて持ってきてください。スノードームに入れる「雪」として使います。

今号のタイトルイラストは、「山茶花(さざんか)」。椿と似ています。赤い山茶花の花言葉は「謙虚」「あなたももっとも美しい」。白い山茶花の花言葉は「愛嬌」。ピンクの山茶花の花言葉は「永遠の愛」。